

都の太鼓踊り

十月二日、都の皇陵塚前で太鼓踊りが奉納され、いつもは静かな山里に太鼓の音が響きわたりました。

また今年十月十一日の、秋葉神社秋季大祭でも太鼓踊りが奉納され、参拝に訪れた人たちは、優美な踊りに見入っていました。



十月二日 都の皇陵塚前

秋葉神社秋季大祭でも奉納



10月11日 秋葉神社に奉納

太鼓踊りの由来

その昔、屋島の戦いに敗れた平家一門は、阿波の祖谷から土佐の山中に入り、旧仁淀村都へ落ち延びたと伝えられています。

その時伝授されたのが太鼓踊りで、安徳天皇の御霊を安じ奉るために、皇陵塚前で円形になって唄と太鼓に合わせて踊りを繰り広げます。

数百年前より絶えることなく行われている太鼓踊りは、別名「都踊り」ともいわれ、毎年旧暦八月二十二日に奉納されています。

旧安居銅山への道を整備 池川応援団

県下に誇る美しい安居渓谷や自然豊かな池川地区を少しでも良くしたい！たくさんの人に来てもらいたい！という思いを持って活動をしている、地域活性化グループ池川応援団。

これまでに雑誌山周辺のトレッキング（山歩き）道の整備や、テングス病にかかった桜の枝の伐採など、さまざまな活動を行ってきました。

10月6日には、団員10人が旧安居銅山への道の整備を行いました。草刈り、倒木の除去、道の拡張、ロープ張りなど、好天の下、良い汗をかきました。

一番大変だった倒木の除去では、チェーンソー3台が活躍して、見事に道が復活。今後も雑誌山と旧安居銅山への道の両方を整備して行く予定です。



倒木の除去作業

高原で秋の1日を楽しむ 星ヶ窪ハイキング



会場遠景

10月7日、星ヶ窪キャンプ場で約200人が参加して、星ヶ窪ハイキングが行われました。

会場では、一圓想による和太鼓演奏や大目真壺さんによるオカリナ演奏、堀内佳さんの青空コンサート、池川神楽のほか、かずら細工教室や紙ひこうき飛ばし大会など多彩な催しが開かれました。

会場は終日にぎやかな歓声が響き、子どもから大人まで大いに楽しんだ1日となりました。



かずら細工教室



オカリナ演奏



一圓想の和太鼓演奏



紙ひこうき飛ばし大会

親子で触れ合う釣り大会



九月二十三日、須崎市野見湾で親子のふれあいを目的に親子釣り大会（主催・池川教育事務所）が行われました。

絶好の天気恵まれ、町内から参加した七家族十九人は、二つのイカダに分かれ親子で和気あいあい釣りを楽しみました。

あいにく釣果の方は「いま一つ」といったところでしたが、釣れるアジゴは例年より大きく「やった、釣れた!」とうれしそうなお声がかれました。

お父さんやお母さんは子どもが魚を釣り上げると、すぐさま針を外し、大事そうにクーラーボックスへ入れるなど、意気の合った姿を見せていました。

てくてくてくてくてくてく

山紀行

3

(随時掲載)



青滝山山頂から望む茶霧湖

などを楽しんでもらおうと、地域の方々が整備されているものです。

朝の九時に仁淀川町本庁舎を車で出発。国道33号を愛媛県方面へ向かい、名野川から県道中津公園線に入り、九時二十分

九月某日、厳しい残暑も和らいだ秋晴れの一日、下名野川から青滝山を指しました。青滝山は、地元では金鉱山と呼ばれ親しまれています。近くを通る作業道ナガサカヤマ線から登ると、四十五分ほどで頂上に行けませんが、今回は山村自然体験のできる宿泊施設「しもなの郷」の前から、登山道に登ることにしました。この登山道は、「しもなの郷」を拠点に、自然散策

あおだきやま -青滝山(1,175m)-

「しもなの郷」に到着。中津川を挟んだ対岸にある駐車場に車を止め、九時二十五分に登山道へ。しばらくは、植林の中を登って行きますが、一時間ほどで雑木林になり、木々の間から中津明神山が見えてきます。十時五十分、瀬戸石に到着。岩が両側から迫り、狭門(せと)になっていることから、瀬戸石と呼ばれるっており、大きな岩が二つに割れ、その間を道が通っ

ています。

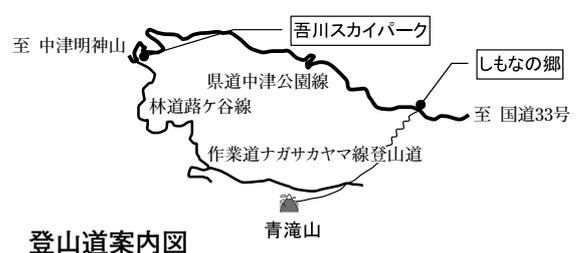
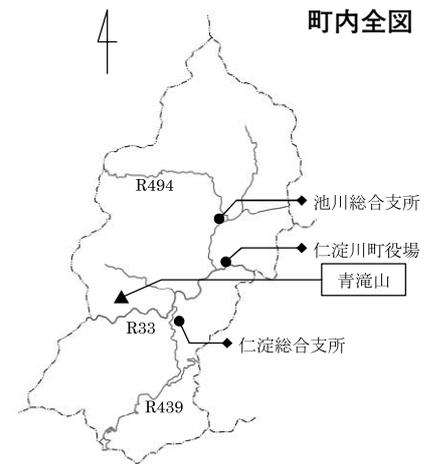
ここから再び植林になり、一時間ほど登ると白滝、赤滝へ行ける分岐点に到着。白滝へは五分、赤滝へは十分ほどで行くことができます。水量は少なく、白滝は白い岩肌、赤滝は赤い岩肌を滑るように水が流れており、冬の寒い時期には、岩肌を流れる水が凍りつき、幻想的な風景になるそうです。

分岐から十分ほどで、作業道ナガサカヤマ線に到着。時



登山道入口「いざ出発」

町内全図



登山道案内図

計の針は十二時五分。三十分ほど休憩し出発。登山道の要所には案内板が立てられており、迷うこともなく尾根筋の道を登ること四十五分。ようやく石灰岩の露出した山頂に到着しました。山頂からの眺



壮大な瀬戸石

めは抜群で、近くは中津明神山、遠くは雨ヶ森などを望むことができます。最高のロケーションで遅めの昼食。ふと空を見上げると、吾川スカイパークから飛んできたパラグライダーが、気持ちよさそうに上空を舞っていました。

この付近は、モミヤブナの原生林や石灰岩地帯特有のドリーネ(窪地)などもあり、町が「学びの森」として整備を進めています。「しもなの郷」から山頂まで、四時間ほどかかるので、時間がない場合は、車で作業道ナガサカヤマ線まで行き、散策されると

さくらクラブ吾川秋季ゲートボール大会

9月12日、原石山ゲートボール場に4チームが参加。総当たりで順位を競いました。

- 優勝 なかよしチーム
- 準優勝 三葉チーム
- 第3位 加枝ニコニコ会チーム
- 第4位 中津チーム

仁淀スポーツクラブ秋季バドミントン大会

9月12日、長者小学校体育館に7チームが参加。

- 優勝 濱永圭・西森みはるペア
- 準優勝 岡村優一・西森舞ペア
- 第3位 岡村昭浩・西森奈由美ペア

仁淀スポーツクラブ6人制バレーボール大会

9月14日、仁淀中学校体育館に3チームが参加。

- 優勝 池川チーム
- 準優勝 森ソフトバレーチーム
- 第3位 ファミリーバレーチーム



参加者の皆さん

子ども会ソフトボール大会

9月22日、町青少年健全育成協議会主催の子ども会ソフトボール大会が観光センターグラウンドで開催されました。

吾川・仁淀・池川より5チーム80人の選手が参加し、熱戦が繰り広げられ、4戦全勝で「中津ジュニア」が優勝しました。



優勝した中津ジュニア

県民スポーツフェスティバル ソフトボール大会

9月30日、春野運動公園で開催された同大会一般男子の部に、吾川チームが出場。各地区の予選を勝ち抜いた5チームで優勝を争いました。

吾川チームは準決勝から登場し、高知市チームに4対2で競り勝ち決勝へ。黒潮町チームとの決勝では4対0で敗れ、準優勝となりました。

第25回四国マスターズ 陸上競技選手権大会

10月7日、徳島市田宮陸上競技場で行われた同大会に田元久木さん（久喜、83歳）が出場し、60㍓走など3種目（80歳から84歳の部）で第1位という輝かしい成績を収めました。

65歳から各地域で行われるマスターズ陸上大会に、毎年のように出場し日本新記録も樹立している田元さん、今回の記録は次の通りです。

- 60㍓走 10秒84（大会新記録）
- 100㍓走 18秒13
- 200㍓走 40秒12



田元さん。一位のメダル三個を胸に